

# 古河歴史見聞録

## 越中富山の献上鮎鮎と旗本三浦氏

### 献上鮎鮎のおすそわけ

今回紹介する資料は、越中国富山(現富山市)藩主松平(前田)出雲守利隆から、江戸幕府側衆の三浦肥後守桂次に宛てた書状です。

いよいよ堅固にお過ごしですか？ 將軍家へ献上した残りの鮎鮎一桶を贈ります」というものです。

**献上鮎鮎の残り？**  
書状の差出者の利隆は加賀国金沢現金沢市藩主前田氏の一門で10万石を領し、松平名字の使用を許された外様大名。

書状には10月15日としかありませんが、桂次が側衆に就任した元文2(1737)年8月以降で、吉宗の將軍在職中、かつ家治の元服前との条件が揃う、元文2~5年

一方、受取者の桂次は下野国壬生(現栃木県壬生町)藩主三浦家の分家で、祖父の共次が寛永18(1641)年、本家の領知より5千石を分知され成立した大身の旗本です。下総国諸川町・五部村・新和田村・尾崎村を知行し、三浦氏の陣屋跡と伝わる場所には、陣屋稲荷(東諸川)の小さな祠が遺るなど、三和地区に大変ゆかりがあります。

書状の内容は「公方様(8代將軍徳川吉宗)・大納言様(吉宗長男の家重、後の9代將軍)・竹千代様(吉宗孫の家治、後の10代將軍)は、ますますご機嫌よく過ごされてお喜びに思います。あなたも



▲前田利隆書状(諸川小林家文書)

のいずれかだと考えられます。諸大名は時献上と称して季節ごとに領地の名産品を献上しますが、將軍家だけではなく、献上品の残りとして幕府の要職へも贈りました。側衆は旗本ですが、將軍や將軍継嗣の側近くつとめる役職なので、利隆も忘れずに鮎鮎を贈ったのでしょう。

富山の鮎鮎は、現在の鱒壽司の起源とされ、富山藩士吉村新八が先代藩主利興に献上。あまりにも美味しかったので、利興が改めて8代將軍吉宗に献上すると絶賛を受け、以来、富山藩は毎年10月に鮎鮎を献上するようになりました。

#### 旗本三浦氏のその後

ところで、旗本三浦氏については、詳しい資料が現存しません。これは約14年間にわたり一貫して次期將軍徳川家重(延享2年に就任)の側衆をつとめた桂次が、寛延4(1751)年10月、親族間(甥と甥の姉婿)の刃傷事件に連座して改易の処罰を受けたためです。しかも事件に連座し改易と



▲東諸川にある陣屋稲荷

なった他家は、大幅な減封のうえ家名再興が許されたにもかかわらず、なぜか三浦家だけ改易のまま、再興が許されなかったことにもよります。

その後、文化・文政年間(1804年~1830年)、末裔と思われる三浦狭間定次が、旗本として繁栄を極めた御家の再興を図り、先祖ゆかりの地、諸川町の名主と交流します。しかし、悲願が達成されたかについては、残念ながら不明です。

三和資料館学芸員 白石謙次

【一般書/人生訓】  
心。  
稲盛和夫 著  
人生とは心が紡ぎ出すものであり、目の前に起こってくるあらゆる出来事はすべて、自らの心が呼び寄せたものである。  
当代随一の経営者・稲盛和夫が、よりよく生きるための心のありようをつづる。『生き方』の続編。  
出版社…サンマーク出版

【絵本】  
きょうふのしりとり  
武田美穂 作  
「かわいいもの」で、しりとりしよう！ ようかい、いど、どろぼう、うらめしや、やまんば…。  
かわいいのに、笑っちゃう？ きょうふのしりとりのはじまり！  
出版社…ほるぷ出版

図書館の本棚から

悪口本  
稲盛和夫 著  
心。  
稲盛和夫 著

ぼくは気の小さいサメ次郎と  
いいます  
岩佐めぐみ 作  
見た目は怖そうだけど、実はとっても気の小さいサメ次郎。ある日1通の手紙を拾ったことで、カメ次郎と知り合う。なぜかサメ次郎を怖がらないカメ次郎。サメ次郎は、自分も手紙を書くことに…。  
出版社…偕成社

中央公民館

【一般書/文学】  
文豪たちの悪口本  
彩図社文芸部 編  
文豪たちは悪口もすごかった！ 太宰治、中原中也、夏目漱石といった作家ごとに分類し、文豪同士の喧嘩や家族へのあてつけ、世間の愚痴などを、随筆・日記・手紙・友人や家族の証言をもとに紹介する。  
出版社…彩図社

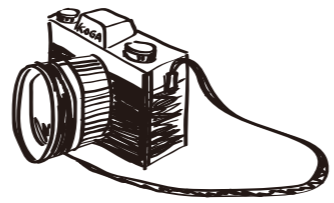
【児童書/文学】  
ぼくは気の小さいサメ次郎と  
いいます  
岩佐めぐみ 作  
見た目は怖そうだけど、実はとっても気の小さいサメ次郎。ある日1通の手紙を拾ったことで、カメ次郎と知り合う。なぜかサメ次郎を怖がらないカメ次郎。サメ次郎は、自分も手紙を書くことに…。  
出版社…偕成社

## 1968 昭和43年頃



提供：三和資料館  
1916(大正5)年に建設された幸島銀行の社屋です。石造りの建物は、村のシンボリックな建築物でした。その後、常磐銀行幸島支店、常陽銀行三和支店として地元の人に親しまれました。  
【募集】このコーナーに掲載する昔の総和地区の写真を探しています。お持ちの人は☎シティブロモーション課(TEL92-3111)までご連絡ください。

## 古河 今昔物語 Time Travel Photograph



## 2019 令和元年

